常磐毎日新聞

日刊

夕刊　五月九日

定價　一箇月金[illegible]
[illegible]
發行兼編輯印刷人　坂本忠治
發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

印刷物の御用命は常磐毎日へ！　電話六三〇

一人一本が 建前
平市歡送迎旗制限
付添人も一人限り

事變勃發以來將兵の入營出征、歸還に際し特に盛大な歡送迎が行はれて來たが長期戰となるに伴ひ輸送方の困難、旅館の不足、資源愛護等の建前から平では從前申合せた通りお祭り騷ぎにならぬ〝精神的歡送迎〟を奬勵左記事項を實施するやうこれが徹底に乘り出すことになつた

一、付添人として入營部隊または集合地まで同行するものは一名限りとすること

一、歡送迎旗は市から贈る一本にすること

一、除隊土産は全廢すること

海軍召集事務檢閲

平市の海軍召集事務檢閲は來る三十一日

防空の重要機關
監視隊本部講習
技能練磨の猛訓練
早朝から握飯持參

防空上の耳であり眼である防空監視隊の演習は本年度防空演習劈頭の訓練行事として來月執行される豫定である爲め平署内の平防空監視隊本部では是れに備へ隊員及び哨員に對し監視通信に關する現地教育を施し其の技能を練磨し能力向上を圖る計劃から明十日午前七時から握飯持參で同署會議室に講習會を開く事になつた、因に課目及び講師は左記の如くであると

（開講訓示）渡部署長、（監視隊員服務心得）土屋警部補（防空監視及情報通信）白井警部（防空氣象其の他）吉田憲英（實科基礎教育及び應用教育）渡部署長、白井警部、土屋警部補、本田部長、川崎文治、井上貞次郎、吉田憲英（講評）渡部署長

文字通り天馬空
郡下の薫風を切る
縣内一巡の長疾驅

伊達郡粱川町興國少年團指導員三浦彌平氏は健康週間に於ける休育奬勵の意味からマラソンで縣内一巡の壯擧を企て既に六日縣廳正門前を出發したが十二日には薫風を切つて颯爽と石川町方面から本郡下に入り同夜磐崎村に一泊、翌十三日は湯本町を經て炭礦のスポーツを見學、疾驅を續けて小名濱町から擧聞の片濱街道を廻り更に息つく暇なく閼伽井嶽に登山、同夜七時平着の豫定で、平市では子鍬倉、飯野八幡の兩縣社を初め九品寺、性源寺、菩提院等各神社佛閣に皇軍の武運長久を祈願し十四日午前七時平市發、神谷村から四倉町に飛び久之濱から相馬方面に北上し大いに韋駄天振りを發揮すると

滿洲移殖馬
購買班來る

平及び石城地方における滿洲移殖馬の購買は十日市内八幡小路、十一日錦町鮫川堤防の兩所で帝國馬匹協會から移殖馬購買班が出張して行はれる

忠魂祭
植田で執行

植田町では十五日午前十時から八幡公園忠魂碑前で忠魂祭を執行今事變に散華した長瀨憲彦軍曹以下英靈二十二柱の冥福を祈る

徴兵檢査
植田方部へ

平徴兵署管内の本年度壯丁檢査は間もなく終了、十七日からは植田徴兵署管内郡南十ケ町村の檢査が植田小學校で行はれる

從軍傳達式　平市

仲町酒井芳殿氏方酒井政信君に對する從軍記章並に證狀傳達式は明十日午前九時から市役所で行はれる

磐城丸の
修繕成る

既報靜岡縣清水港に修繕中であつた磐城丸はこの程修繕成つて小名濱に歸港いよいよピン長鮪漁調査のため十五日頃同港を出帆することになり目下準備を進めてゐるが受持は第三海區本縣沖合一千八百浬の個所でこの漁期は五月中旬より九月末まで三航海を續ける豫定である

尚暫く消息を絶つてゐた第二東日本丸もピン長鮪漁に協力する模樣で目下農林省に手續中であり若し許可になれば最高一萬五千圓以下の補助金が交付される上漁獲物は漁船の利益といふ好條件なので關係者一同張切つてゐる

大漁の吉報に
勇躍する北洋漁業

既報四倉町から本年北洋漁業に出船する船數は昨年と大差なくいづれも出帆の準備全くなり遲くも十四、五日頃一齊に四倉港を拔錨することになつたが本年は大漁の見込みに北洋の漁場を縱橫に活躍して水産立國の國策を遂行し得ると今から船主も乘込員も意氣込んでゐる

農場班渡滿

鹿島村安藤正雄君は飼料不足に對應して滿洲に飼料の自給耕作を目的とし本縣から渡滿することになつた滿洲建設勤勞奉仕隊特設農場班前期部隊員の一人として昨八日内原訓練所に入所したが十日間の訓練を受け十七、八日頃新潟發で渡滿する筈である

縣下中等學校の
決勝戰球場變更
十九日磐中球場に

既報縣下中等學校選拔野球大會は十九日午前九時から平商球場で擧行される筈であつたが都合により磐中球場に變更された組合せは

△準決勝戰

磐中―若商

△決勝戰

平商―その勝者

で前回迄の戰績は左の如くである

安中7―1保中
平商6―3福中
若商9―8白中
磐中6―0郡商
平商24―7安中

石炭採掘
第三回協議

平市では明十日午後一時から發炭出願の石炭採掘に關する第三回委員會を開く

四倉の町會　四倉

町では今九日午前九時から町會を開き左記諸案件を附議した

一、戰病死軍人町葬の件

一、退職訓導慰勞金贈呈に關する件

一、鑛區出願に關する件

一、小學校第四校舍改築工事繰延施行に關する件

一、十五年度歲入出追加更正豫算の件

公益質屋の
縣下聯合總會

既報縣下公益質屋聯合總會は八日午前十時から平市公會堂で開き厚生省植田事務官、縣學務部長代理井上社會課長、公益質屋代表四十餘名出席、十五年度豫算千五十六圓（前年比十圓増）を可決した後左記事項を決議三時過ぎ閉會したが今九日は平市及び湯本町の公益質屋を視察散會した

△時局下の評價貸付歩合の適正化事務刷新のため縣下七方部に分ち研究協議會を開く

△利用者には親切叮嚀秘密を嚴守すること

△事業改善のため大阪其他五ケ所の公益質屋を視察する

分團長慰勞　小名

濱警防團第三分團では過般退職された分團長鈴木正氏に對しこの程記念品として高級大型掛け時計を贈つた

二千名の
接客業
健康診斷

平署では今九日市内における接客業者約二千名を同署會議室に集め健康診斷を行つた

巡回相談
平市役所で

縣中央商工相談所では明十日午前九時から午後四時迄市役所で轉業や其他に關し地方の巡回相談を行ふ

秋山使丁の退
職を稿ふべし

（小名濱支局通信）

支局長　小野務平

小名濱校の使丁として十五年何ヶ月を一日の如く忠實無二と云つた樣に陰陽なく明暗なく其職責を盡し得た秋山善次（六九）翁が此程退職を申出でたと云ふに對し西山校長は翁に向つて其退職を惜しみながらも承認せざるを得ないと稱して承認を與へ小學校使丁として再び學校では見る事の出來ない事となつた。

秋山翁は其出發は船乘を家業として居つたが船頭の自分の身体に相應はしからざると見て福尾校長時代に學校使丁として學校入りをした樣に記憶して居る、であるから福尾、西山の二代校長に奉仕した事にもなる、そして福尾校長から西山校長に、移り際は小名濱町が國民基礎教育施設の上に相當惱みのあつた時で謂はゞ學校施設の上に乘るかそるかの分岐點に置かれた時である、本町が今日の如き躍進的將來を持たふとは神ならぬ吾人の知る由もなかつた時に兒童はドン〳〵殖いて行く即ち學校大増設の問題が教育機關はどうするかと横つた時である。

茲に學校問題は大増築案を町會が通過し俄然五十學級の大校經營に向つたのである、隨つて教員の増加と云ふ段取りとなり使丁の要務の如き二人あつても三人あつても手と足を取り替へても間に合はない繁忙時代を迎ふるに至つたのであるが、其の多忙、繁激の裡に何時も身輕るに忠實に働き不平なく不滿なく其職務の爲めに盡瘁されたことは見る人の異口同音感歎措く能はざらしめたものである。此の繁激の職務の上に昭和八年頃に學校の問題は擴大し舊校舍を廢し新校舍の新築となつて完成したのであるが其後に至つても相變らず翁は今日まで其多忙の時代を通り越し愈々第二校新設さるるに至り此れから多少なりとも樂の方に向はんとする時に翁の退職の餘儀なきに至つたのである。

斯くも使丁たりし十五年前より今日まで殆と苦しみのみ見て樂の天地を與へられなかつた、翁に對して學校當局は考慮を拂へ居る事とは思ふがこれは只々學校當局の考慮にのみ一任し置くべき性質にあらずして町當局は勿論父兄側に在りても共に退職慰勞の方法を考へ翁をして老後の憂をなからしむるの方策を講じ充分慰安を與ふるに遺憾なからしめん事を此機會に町有志家に議る次第である【完】

海の若者に
移動式青年學校

既報小名濱漁業組合では私立青年學校設立の計畫を進めてゐたが準備全く整つたので認可あり次第開校することになつた收容豫定生徒數は百名、一ケ年授業時數は百八十時間で船上陸上を問はず教練學科を教授このため遠洋漁業等の廻船には教練學科乘務の專任教員を乘組ませ各入港地の港々で銃を擔つて『お一二ッ！』の軍事教練を鮮かにやつてのけやうといふ漁夫の子弟に對する此種の教育機關としては小名濱漁業組合が先鞭をつけたもので全國漁業に向つての警鐘とも云ふべき其將來を嘱目されて居る

泥醉漢が
學校で暴る

夏井村生れ目下住所不定ゴム靴修繕業鈴木信（四二）は七日正午頃泥醉して相馬郡八幡小學校に押かけ手當り次第に暴れ廻つてゐるところを中村署員に檢擧された

病苦から
厭世自殺
自宅で縊死

赤井村字諸荷日曹赤井鑛業部社員津田増夫（三〇）君は八日午前八時頃自宅で縊死を遂げたが原因は病苦を悲觀したもの

賣溜金
竊取の犯人

四倉署では七日夜仲町文房具商金海堂こと芳賀孝さん方へ押入り賣溜金三十餘圓を竊取逃走した犯人を目下各方面に手配行方嚴探中である

小名濱實科
聖地に旅行

小名濱實科高女並に實業生八十餘名は來十五日二泊三日間の豫定で聖地關西旅行に出發する

故古市君の
實家は三人暮

昨報戰病死した陳田部隊步兵上等兵古市政雄君は四倉町字仲町農徳太郎さん（六七）の嫡養子だが出征前迄家業に從事してゐた眞面目な青年だつた、養家は養父及び養母シナさんと妻チヨ（二七）さんの三人暮しである

泉村義捐金　泉村

少年赤十字團では罹災地のお友達を救へと過般矢繼早に襲つて棚倉、富久山、田島町に對する義捐金を募集してゐたがこの程金四圓を送金した

方面委員會　平市

の方面委員五月例會は二十四日市役所會議室で開かれる

修養座談會　小名

濱町では八日午後七時から成章女學校で皇恩扶翼會本部受講者並に過般四ツ倉で講習を受けた人々を囲み座談會を開いた

平市人事

◎出生

△五丁目九渡部勳氏三男芳久君

△下平窪字屋越四三目下東京市杉並區中通町二九鈴木操氏二女征子さん

◎婚姻

△内郷村小島字下の内二九坂本保（二九）氏と七軒町二八ノ二荒川良子さん（二四）

△若松市川原町一三三長谷川鐵雄（二六）氏と古鍛冶町八八岩崎イク（二三）さん

◎死亡

△紺屋町四四目下茨城縣日立市隘二氏長男柳下降司（一）君

△中平窪字富貴内六九目下上遠野村大字瀧字山崎八政一氏長男福田直行（七）君

△平窪大字大室井戸作一目下東京市大森區字大森三ノ一六貞氏祖母松崎ソメ（八二）さん

△禰宜町一一森吉氏孫武藤勝美（三）君

ラヂオ

今晩の部

▽後六、〇〇　子供の時間（時局講話）「物を大切にしませう」泉守紀
▽後六、二五　講演「私の見た海南島」火野葦平
▽後七、二〇　郷土に寄する言葉　作家北村小松
▽後七、三〇　國民歌謠
▽後七、四〇　浪花節「野狐三次」春日清鶴
▽後八、三〇　時局談話「百五十億財政とインフレーション對策」大藏次官大野龍太
▽後九、〇〇　連續物語「太閤記」（三）「羽柴時代」矢田挿雲原作　神田伯龍

明日の部

▽前九、四五　幼兒の時間ハナシアヒ「オテツダヒ」二葉幼稚園兒
▽前一〇、二〇　家庭の時間「最近の廢品更生」三（金屬屑類）萬澤傳
▽前一一、〇〇　小學生の時間「低學年」お話二つ　悔田光江
▽後〇、〇五　箏曲　佐藤美代勢ほか
▽後二、〇〇　小學生の時間（高學年）「合唱の話」合唱　東京市教員合唱團　お話　小松耕輔
▽後三、三〇　教師の時間　讀本朗讀講座（五）小學國語讀本（卷九）山本利一
▽後四、三〇　夏場所大相撲實況…兩國々技館より中繼（二日目）
▽後六、〇〇　子供の時間（ハーモニカと唱歌）宮城縣亘渡小學校兒童
▽後六、二五　講演
▽後七、二〇　郷土に寄する言葉（錄音）小日山直登
▽後七、三〇　國民歌謠
▽後七、四〇　中支より
▽後八、〇〇　歌謠漫談「アンテナは笑ふ」坊屋三郎ほか
▽後八、三〇　（新京より）開發リポート（錄音）：漁村滿洲…
▽後八、四〇　合唱と管絃樂（合唱）アンサンブル・シエーン、東京放送管絃樂團（指揮）池讓

御挨拶

コンパルも今度純食堂になり階上は地方では一寸見られない數寄屋風の御座敷に改築致しました、御商談、御會食等に是非！一度御利用下さいますやう御願ひ申上げます

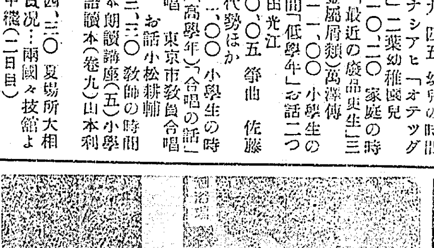
コンパル
金春
平市　電話666番

これは便利！

▽手を荒らさず
▽絹、毛織物、本綿、スフ生地を傷めず
▽つけておくだけで洗へるおちのよい

㊫マルミ粉末石鹸

製造元　平市材木町十一番　電話（呼）四〇八番



鐵道指定旅館
♨　割烹　小瀧
小名濱電話一〇三番

開院

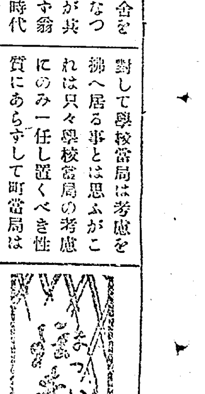
外科一般　内臟外科
整形外科　肛門病科
性病科　レントゲン科

平市南町（平郵便局本局裏通り）

上田外科醫院

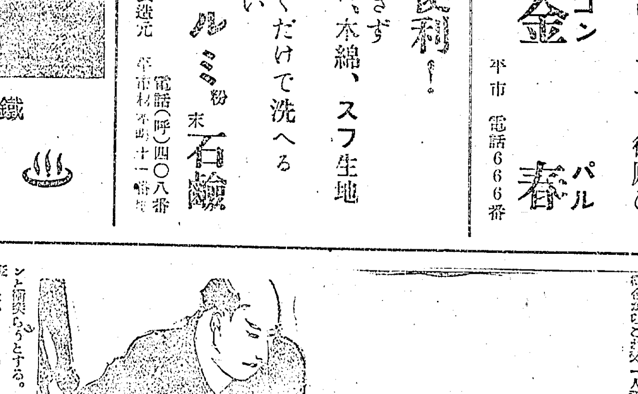
院長　上田耕作

電話一九二番

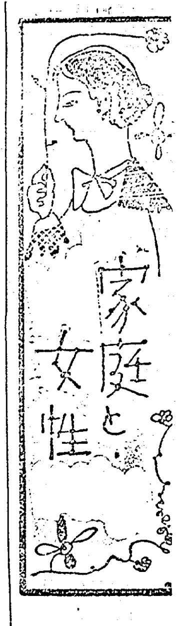


第六十八回
あはや眞二つ

[illegible]

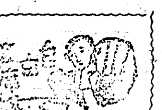


[illegible]



赤ちゃんの着物

大塚美保子



古ゆかたか布をつないで大巾一尺近すのおむつを三十枚、カバーは晒木綿を丈とし、巾七寸五分のネルの手製四枚、さらしの胴着三枚、綿ネルの下着と上着各三枚、メリヤスシャツ三枚宛、それにスエーター、これで八ケ月までの赤ちゃんの衣服は十分です。綿ネル五尺で下着と上着一組が出來る仕組用布を持參すれば裁方縫方も教へてあげませうと先だつて私は某醫院附設の產院で看護婦の方から教へていただいた。

着物を通しての說明で、成ほど衞生的にも經濟的にも合理的なものであらう、訪ねてきてよかつたとしみじみ思つた。

若い母達に赤ちゃんの着物に就いて質問してみると申合せたやうに色んな物をいろいろこしらへたと返事をされる。かすかな胎動に抱く日の喜びを想ひつゝ、とりどりの着物を縫ふ若い母の心もちを至當なものと思はれるからであらうが

まだ精神的發達の不充分な乳兒期こそはまづ衞生で色合や好は第二の問題であらう。

人生出發の起點たるこの時期において、既に母親の衣服に對する確乎たる信念がない時は成長に從ひ千變萬化に幼兒を衣服へ魅惑せしめる傾向となりやすいと思ふ。衣服にあこがれる者ほど人間的內容のぜい弱な事を思ふ時、母親はまづ自らが嬰兒期への愚かな盲愛から脱却せねばならぬと私は信じる。

大陸から來る いろいろな病氣

さてその豫防法は？

最近各地に天然痘の發生を見て人々の恐怖をいやが上にもつのらせてゐますが大陸への渡航者が殊に支那との交渉がさかんになるにつれてかうした恐ろしい傳染病が輸入されて來ることもまたやむを得ないことでせう次に「大陸から移入する病氣」について厚生省衞生局の調査をきいてみませう

……天然痘……

まづ一番多いのは天然痘です。この病原體は不明ですが幸ひに種痘を發見したジェンナーの恩惠はわすられません天然痘は誰でも感染しうる性質をもつてゐるので種痘をしてゐないと感染します、傳染經路は接觸傳染はもとより空氣傳染もします殊に、患者が使用した物品に病源がついてゐると危險ですが乾燥した空氣にさらされると病源は速かに病力を失ひます

……マラリヤ……

次にこれから多い病氣はマラリヤで日本では「おこり」ととなへてゐます、この病氣は現在は日本內地では部分的にしか見あたらず濕地や沼地の多い土地に生じますがそれも多く夏季で、しかも輕微ですがマラリヤも支那にあるのはきわめて猛烈で種類も多く惡性です　この病氣の厄介な點は保菌者によつて傳染される場合があることで保菌者が蚊にさゝれその蚊が他人にさすとたちまち傳染するといふ具合ですこれは一時なほつた樣でも保菌してゐる場合が多く豫防法としてはまづ蚊にくわれないことです今のうちから下水の掃除などをおこたらず蚊の發生を防止することが大切です。この病氣にはキニーネ劑が有効ですからその疑ひがある場合は早く醫師の手によつてキニーネ治療をうけねばなりません

……コレラ……

次はコレラですこの病氣は夏季にのみ傳染するので現在では支那にも發生してゐませんが夏季になり交通もひんぱんになり物品のやりとりも多くなると危險ですこの病氣は消化器傳染ですから、まづ飲食物の注意が肝要です、また病人と交渉のある人は必ず豫防注射をうけなければ安心できません、それからアミーバ赤痢がありますこれは「熱帶赤痢」とも稱せられ北支中支あたりに多く支那一圓に病毒が蔓延しアミーバの棲息してゐる水から傳染します、この病氣は一時なほつたやうでも內地に歸つて來ると再び發病するといふやうな執拗な病ですこれに對しては飲料水に注意することが第一でアミーバ赤痢の特効藥はエメチンです

……春苗床……

……小ばなし……

「滿洲大豆で洋服が出來たよ」

「クリーニングするときはどうするだらう」

「大かたホーロクで煎るのだらう」

ペンキの消し方

○…白布にペンキの着いたのを消し取つて何かほかの物に用したいのですが、ペンキのとり方を教へてください。

（こ）布目の中にのこつてゐる分はよくもんで落します。しかしペンキの色素は鑛物性のものですから、どうしても色がのこります。後に物理的に御飯つぶでまぶしてみるよりほか仕方がありますまい

これは話がちがひますが、木に塗つてあるペンキを落すには、木をこがさない程度にかるく火をあてるとペンキが乾いてぼろぼろ落ちます。（ら）或は　直火のかわりによく燒いたアイロンをあてゝ落とし、あとは乾いた布でよくふき取り、にサンドペーパーでみがくときれいになります、ドアのペンキの剝げた箇所を塗り直す時には、はげた部分の三四倍だけ周圍のペンキを落し、サンドペーパーでよくこすつてから、同色のペンキを塗ると手ぎわよくゆきます。

家庭教材

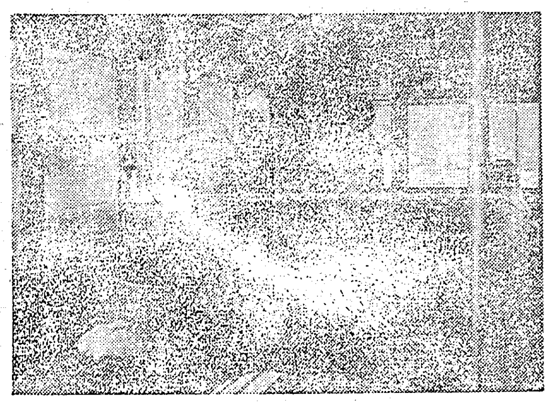
致富の秘訣

昔ある町に一人の大家があつて家財珍寶町中に匹敵する者はない位で、その主人はまことに慈悲心に富み、常に人を惠む、故をもつて人みなその德を慕ひ敬ふた、ある時友人の息子が放蕩して、財源をすつかり遣ひ果し、今では生活にも窮しんで居ると云ふを見るに見かねて身を愼み正しき道をふんで働きさへすれば、生活は立つ、而して前途有望になることもできるから……と親切にさとし、ある時主人は門外の溝の上に鼠が一疋死んでゐるのを見て放蕩息子をちかく呼び賢い人であつたらあの鼠の死骸一つで立派に金もうけをして生活が立てられるのだ今度こそは眞直ぐな道を踏んでやつてごらんなさいと云ふた、丁度その時ある乞食がその問答をきいてこれを立聞きし、なるほどうまい事を聞いたと歡んでその死鼠をひろうてかへり、それを料理してうまく賣上げたら二せんに賣れた、こんどはその二せんで野菜を買うて商ひ、買つては賣り買うてはうるうちに一圓ほどもうけた、それからだんだんもうけだして、遂に巨萬の富をなすに至つたので大いに喜び、これといふのも彼の大家の主人のおかげであるから、報恩のためにとて、鼠の像をつくり、その上に鼠の像をおき鼠の腹の中へはいろいろな寶玉をちりばめ、又ろくその周圍には金入りの模造をかざつて恩人に送り今日の盛富の理由をのべてあつくその教訓を謝した。時に大家の主人は心よくそれを受をさめて、[illegible]も賢い人であると[illegible]財の[illegible]部[illegible]を大切にして[illegible]中に[illegible]知らぬものは[illegible]に[illegible]かれてある。

春の旅行心得

運賃改正と能率の增進

乘客も國策に協力して



四月から鐵道運賃が改正されて二捨三入つまり三錢、四錢は五錢に切り上げ、六錢七錢は五錢に切りすてるわけです、十二錢は十錢に、十三錢は十五錢に、十七錢は十五錢に……からなるのです、これはつりせん勘定の煩雜を少くし改札口の能率をはかる意味で努力されたものです。これなど四月からの旅行心得として最も注意されるものでせう、なほ、その他一般の旅行心得を東鐵旅客課の鈴木氏に尋ねてみました

：

――一般の人たちの道德的教養はなかなか實踐されないやうです混雜な改札口で一列にならんで順を待つことや、昔から云はれてゐる「一降り二乘り三發車」といふやうなこと、こんなことが行はれてゐません

：客　車內の清潔も保たれてゐぬ狀態を見受けますし一人で二人分も席を取つてゐて、注意されぬかぎりその席をあけぬなど、どうも困つたものです、これからは旅客も多くなるのですが、くれぐれも注意してもらひたいものです

それから、入場券で列車內に入つて、發車間際まで席にガン張つてゐて、減額だと思つてゐると發車になつて客車內に方々に空席ができたりすることは、他の乘客にとつて、ずゐ分迷惑なことです。こまつたことに、そんな入場券で列車內にはいつて、降りには他人の荷物をもつて來てしまふこのやうな盜難が殊に多いのもこれからですが、これは一般乘客も注意していただきたいことですそのほか、わすれ物が

：年　額三十萬圓にも上るのですが、既に手數もかゝり、厄介なことです

このほか旅行心得としては、まあ、なるべくお花見旅行や遊覽旅行は遠慮していただきたいものです、つまりは時局柄、國策線に協力していただきたいのです、最近は、休日などは殊に各列車とも滿員の情態ですし、したがつて目的の列車に、なかなか乘れぬやうなこともおこるわけです

：當　局としても臨時列車は出してゐますが、これは特に掲示はしてありませんから（掲示器で知らせてゐますが）係員へ行つたらこれに注意して、なるべく空いた列車に乘つて下さると結構です臨時列車は、大體定期列車の直後に出ますから、それほど待たなくも乘れるわけです。最近は遊覽旅行客がふえてきてゐますが、何としても非常時局にはふさはしくなく、反省していただきたいものです

時局小說

希望（三）

第百四十一回

松竹上演映畫化

鷲、進

士別丁。樹

北野傳画

暫らくすると、澁も醉つて來た。濟は入つてくるなり、大きな聲で濟司をかけた。

「いやアよく來られましたね」

「はア、順子さんに呼ばれて、御一緒に參りました」

「御社？何處の御社です」

「兄さん此處の天祖神社よ」

「あゝ此處か、さうかそれはよかつた、呼ばれたでせう」

「どうもひとり歩きがまだ出來ませんで困りますよ、家が惡い故でせうね」

「まアあんなことを、大丈夫よ私が」

順子は云ひかけて赤くなつた。

「僕は犬に負けないつて云ふのかい」

澁は傍からひやかした。

「まアひどい兄さん、私と犬と一緒にしていゝの」

「これは濟まんことをしたな、さうか、ぢやこれでも出すかな」

濟は買つて來た支那饅頭の包みを順子の前へ出した。

「これ何んですの」

「何んだか開けてみろ、お前の大好物だ」

包みを開けると、フックラと白い支那饅頭が出てきたので、順子はニッコリして

「あら素敵、ぢや直ぐお茶をいれますわね」

と立ち上つた。

「この支那饅頭つて奴は、どうしても本場に限るやうだね」

濟は大きく頰ばりながら

「向ふの百姓家でこれを買つて喰べた時は實にうまかつたよ」

「さうですね、材料も違ふのでせうか、向ふときたら一寸違ひますよ、順子さんに喰べさして上げたいやうですな」

支那饅頭の話が始まつたと思ふと、支那の生活だとか、仕事のことだとか、色々な話が次から次と續くのであつた。

「敵も到々向ふへ廻るかな、或は[illegible]向ふに迷惑するやうになるかも知れないよ」

濟は、湧き上つてくる希望を胸に、へるやうにボンと胸を叩いて、

「見てゐてくれ給へ、君の希望を無にするやうな仕事はしないつもりだ、これから僕の仕事は二十年かゝるか、三十年かゝるか或は一生かゝるかも知れない、然し僕は倒れる迄やる、必ずやる」

「あなたのことですから、必ずや立派な仕事をすることと期待してゐます、何卒御身を大切にして下さい、自分もこんな體でなかつたら一緒になつて働くことが出來るのですが、殘念ながら出來ません」

「いや、君達は身を以つて大陸の土を踏み出したのだ、立派に祖國の爲に働いたのだ、この上は我々の仕事です」

「自分は與へられた仕事を一生の仕事として一生懸命にやるつもりです、順子さんにこれから御厄介をかけると思ひますが、よろしく御願ひ致します」

「いや、妹もどんなに喜んでゐるか知れません、僕の口から云ふのも變だが、妹が不自由になつたので、僕はどうかと內心心配してゐたのだつたが、妹の氣持は以前より以上に朗らかになつてゐるので安心してゐる次第です、御迷惑でせうが何分お願ひいたします」

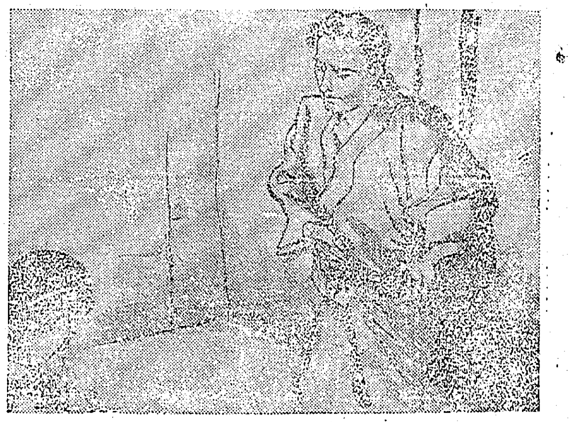
「兄さんそんなことを云はれると恥かしくなりますわ、立派に國の爲に身を捧げた方には誰だつて進んでお役に立ちたいと思つてゐます」

「さうばかりも云へんらしいぞ、その立派な傷兵に對してゐる感謝などの方が遙かに偉いと思ふ、矢張りその氣持が通ずるんだらうかなア」

和やかな談話が三人の胸にひしひしと感じられるのであつた。

誰か居間を隔つてくる足音がしたと思ふとトントンと扉を叩く音があつた。

順吉と好枝がニコニコと立つてゐた。



氷賣場開設

今般御得意樣の御便宜を計り工場內氷賣場を廢し大町一若松醫院前に氷賣場を設置、水野隆介を賣場主任に採用仕り候間御引立願上候

追而　凍魚、鹽干物は從來通り本社にて取扱ひ可申候

平製氷株式會社（電二二八・三二六）

氷の御用命は

電話二一九九番

平製氷直營賣所　平市大町

酵母にまさる

榮養と食慾增進劑

肝鐵

百四十日分　八、五〇

一ケ月分　二、二〇

十五日分　一、二〇

肝鐵は……榮養劑として牛の臟器より製造したものでありますが……胃の惡い人……便通の不整な人に……從來の……酵母や胃腸藥に比較して……御話にならぬ程……よく……きゝます……ふとる……と云ふ事は一、二ケ月もせぬと現はれにくいものですが……立處に食に……ハツキリと……胃腸にきく……と云ふ事は何と云つても肝鐵の大きな強みで……試みに服用して頂いて他の榮養劑の樣に……きゝめのわからぬ……と云ふ御叱りは……絶對にありません

――効能――

胃カタル、消化不良、各病食慾不振、黃疸、膽石、膽管炎、神經衰弱、性慾減退、乳汁分泌不足、脚氣、綜合ビタミン缺乏症、新陳代謝障礙、夜盲性、小兒ノ發育不良、榮養不良、消化不良等惡性貧血、續發性貧血、內外婦人科出血後ノ貧血及急性慢性疾患、即チ呼吸器、血行器、傳染病等ニヨル貧血症、諸ノ增血劑トシテ治療ノ機轉ヲ速カナラシム又過度ノ疲勞後、重病回復期、早老防止等ニ卓効アリ

阿康推選品

平市古鍛冶町（縣社石段下）

專賣所　アコー藥局

電話四四番

振替東京三〇〇六五番

旅舍　大幸館

私は平市出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります

主人　比佐棟雄

東京上野驛前（下谷郵便局橫通角）

電話下谷六七七番

內臟外科

レントゲン科

泌尿器科

北川外科

入院隨意

平市新川町（電話四六四番）

醫學博士　北川芳夫

春物は！

是非當店から

（在庫豐富）

玉屋洋品店

平　田町通　電話六五六番

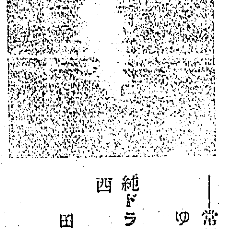
保險は

帝國へ!!

帝國生命

平中央代理店

◎御報次第社員參上



他店で御氣に召さぬ時は是非一度

―常磐線東京仙臺間であらゆるクリーニング機械設備の揃つている―

純ドライクリーニング

西洋洗濯

田町

白榮舍ランドリー

正直なる仕事と優秀なる技術を望まるゝ方は

是非！設備平市第一の

白榮舍ランドリーへ

お醬油はヤマフル

福島縣平市

醸造元

鹽屋

電話一〇・二七番

醬油味噌

たひら正宗

鰹節食料品

明治生命磐城代理店

山崎與三郎

洋酒と喫茶

麗人のサービス

氣分本位の店

タヒラ・ギンザ通り

グリル　バツカス

電七〇二番

高久病院

院長　醫學士　高久忠

副院長　新潟醫學士　赤羽清

藥局長　藥劑師　佐竹菊雄

內科小兒科　外科花柳病科　耳鼻咽喉科

平市田町　電話五一三番

―◎看護婦至急募集―

…お買物なら

在庫品豐富な…

平市田町

銀座通り

玉屋洋品店

電話六五六番

初夏!!!

（とんかつ專門の店）

興亞の春を迎ひどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します

▽出前は迅速に御つとめ致します。

平市仲田町（電話四六五）

かの家

營業時間　自　午前十一時　至　午後十一時

鈴木醫院

平市田町

電話六一三番